

青少年育成センターだより

第37号 平成30年3月



頑張れ、お父さん、お母さん



「イクメン」という言葉があります。参観日や学校行事の際には、お父さんの姿を見ることが多くなりました。

以前は、「子どもの教育は母親に任せた」という考え方をもつ人が多かったように思います。そういう意味では、最近は子育てに積極的に関わっておられる素敵なお父さんが増えたようで、とてもうれしいことです。

これから、小学校に入学するまでの子育てについて一緒に考えてみましょう。

1 子どものことをよく知ること

誰にも長所、短所があります。完璧な人間はいません。子どもの長所、短所を知ることの良い方向に導くことができます。短所を責めずにできるだけ良い面を見てやるのが大切なのです。そのことにより、いろいろなことに自信をもってチャレンジできる子どもに育ちます。

2 子どもに身につけさせたいこと

(1) 基本的な生活習慣

①「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣をつける

「〇時よ。早く起きなさい」と親が起こすのではなく、自分で起きるようにしつけることが大切です。また、子どもが学校に行って勉強や運動に積極的に臨むことができるように、朝ごはんをしっかり食べさせることも親としての大きな仕事です。

②身の回りを整える

使ったものを片付け、自分の物は自分で管理することを教えるようにしましょう。きちんと片付けてあれば次にしたいことをすぐに始めることができます。はきものをそろえることも身の回りを整えることになります。「はきものをそろえると 心もそろう 心がそろうと はきものもそろう」という言葉があります。はきものをきちんとそろえることができる子どもに育てたいものです。

③運動に親しむ

人の体は、運動することによって喜びを感じるようにできています。快い運動は心と体を健康にします。学習にもよい影響があるようです。運動は過度ではいけません。今度もまたやってみたいという気持ちになるくらいの運動がよいのです。親子で外に出て、一緒にバドミントンをしたり、キャッチボールをしたり、サッカーボールを蹴ったりしてみてもいいですか。

(2) 規範意識・忍耐力

子どもには、ルールを守り、我慢する力をつけてやるのが大切です。小さいときからそのような力をつけてやりましょう。そのことにより、その後の子ども生き方が大きく変わります。口で言うだけでなく、親が身をもって示すことが子どもに規範意識や忍耐力を身につけさせることになります。

しつけは、子どもの幸せにつながります。しつけの基本は、親が口やかましく言うことではありません。「こうしなさい」「ああしなさい」と言っても、そのとおりにはありません。子どもは、親がしていることと同じことをします。さあ、あなたの子どもはあなたの姿を見えていますよ。

お父さん、お母さん、子育てを頑張ってください。

問合せ先：防府市教育委員会生涯学習課 青少年育成センター（23-3013）